

2024 岐阜空襲のつどい

～体験者が語る岐阜空襲～

もうすぐ岐阜空襲から79年目の夏を迎えます。昭和20(1945)年7月9日夜、岐阜市は米軍爆撃機B29の焼夷弾攻撃により、一晩で900人近い市民が亡くなりました。空襲は旧岐阜市内だけでなく、合渡地区、鶉地区、鏡島地区などにも広がっています。長良川の西にあたる合渡地区に空襲が行われた理由を、戦後米軍関係者は、「すでに火の手が上がっている市内の向こう側を空襲するのは危険なので、手前の合渡地区を爆撃した」と語っています。また、鶉地区には日本軍の通信基地があったので、そのために爆撃されました。

岐阜空襲を直接体験された方も、少なくなってきましたが、その記憶を語り継ぐことも次の世代の責任でもあります。

今回は、岐阜空襲を体験された方だけでなく、戦争の記憶を語り継ぐ活動を続けておられる方のお話もうかがいます。

なお、会場に来られた皆さんから戦争体験を語っていただく時間もありますので、一緒に戦争のない未来を願って語り合しましょう。



【戦時中の防火演習スタイル】

日時：2024年7月6日(土)

13時30分受付 14時開会 16時ごろ閉会

内容 岐阜空襲を体験された方、語り継ぐ方のお話

場所：ハートフルスクエアG 2階 中研修室 (JR岐阜駅構内東)

参加費：無料

主催：岐阜市平和資料室友の会

〒500-8879 岐阜市徹明通7-13 岐阜市教育会館3F

新日本婦人の会岐阜支部気付 Tel: 058-215-7601

連絡先：090-8135-9452 (友の会事務局長 魚次)

共催：コープぎふ平和委員会 (クラブ)